

2025年6月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

2025年8月14日

上場会社名 パスロジ株式会社 上場取引所 東
コード番号 4426 URL https://www.passlogy.com/
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小川 秀治
問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 黛 慎一 TEL 03 (5283) 2263
定時株主総会開催予定日 2025年9月29日 配当支払開始予定日 2025年9月30日
発行者情報提出予定日 2025年9月30日
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年6月期の業績（2024年7月1日～2025年6月30日）

(1) 経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年6月期	338	△5.5	△39	—	△22	—	33	△46.3
2024年6月期	358	1.0	3	△92.2	19	△67.5	62	8.5

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年6月期	16.81	—	6.5	△2.9	△11.8
2024年6月期	31.23	—	12.4	2.5	1.0

(参考) 持分法投資損益 2025年6月期 一百万円 2024年6月期 一百万円
(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(2) 財政状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年6月期	757	483	63.8	242.77
2024年6月期	819	547	66.8	273.85

(参考) 自己資本 2025年6月期 483百万円 2024年6月期 547百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年6月期	24	△56	△9	154
2024年6月期	42	24	△38	195

2. 配当の状況

	年間配当金			配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	中間期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年6月期	0.00	15.00	15.00	29	48.0	5.9
2025年6月期	0.00	8.00	8.00	15	47.5	3.1
2026年6月期(予想)	—	—	—		—	

(注) 現時点において、2026年6月期の配当金は未定です。

3. 2026年6月期の業績予想（2025年7月1日～2026年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	393	16.3	△61	—	△50	—	△33	—	△16.61

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 有 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(2) 発行済株式数（普通株式）

- | |
|---------------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） |
| ② 期末自己株式数 |
| ③ 期中平均株式数 |

2025年6月期	2,000,000株	2024年6月期	2,000,000株
2025年6月期	9,800株	2024年6月期	1,800株
2025年6月期	1,995,942株	2024年6月期	1,999,290株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 財務諸表及び主な注記	4
(1) 貸借対照表	4
(2) 損益計算書	6
(3) 株主資本等変動計算書	7
(4) キャッシュ・フロー計算書	8
(5) 財務諸表に関する注記事項	9
(会計方針の変更に関する注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(持分法損益等)	9
(セグメント情報)	9
(1株当たり情報)	9
(重要な後発事象)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度（2024年 7 月 1 日から2025年 6 月30日）における国内経済は、企業の設備投資が堅調に推移したことや、インバウンド需要の回復等を背景に、全体として緩やかな回復基調が続きました。一方で、エネルギー価格の高止まりや円安基調の継続による物価上昇、さらに、地政学的リスクの影響等により、景気の先行きには依然として不透明感が残る状況です。

当社が属するITセキュリティ業界においては、サイバー攻撃の手法が高度化・多様化しており、特に生成AIを悪用したフィッシングやマルウェアの拡散といった新たな脅威が深刻化しています。情報漏えいやランサムウェア（注1）による被害も引き続き増加傾向にあり、これを受けて政府や企業においてITセキュリティ対策への投資が活発化し、ITセキュリティ製品・サービスへの需要が拡大しています。

このような事業環境の中、当社は法人向け認証セキュリティ製品「PassLogic（パスロジック）」の販売強化に注力し、「8種類の認証方法を組み合わせ、最大16通りの多要素認証（注2）を提供するソリューション」として、セキュリティレベル向上を求める企業ニーズに対応してまいりました。広告宣伝活動やパートナー企業への販売支援活動を推進するとともに、新規チャネル開拓や営業施策の見直しにより、販売網の拡充と顧客基盤の強化を図っております。

これらの営業及びマーケティング活動の結果、新規顧客の獲得や、新規のサービス事業者への導入が進み、受注額の増加に貢献しました。しかし一方で、テレワーク特需の一巡に伴い、一部既存顧客の契約ID数削減による受注額の減少も発生いたしました。

その結果、当事業年度の売上高は338,614千円（前事業年度比5.5%減）、営業損失は39,885千円（前事業年度は営業利益3,655千円）、経常損失は22,890千円（前事業年度は経常利益19,029千円）となりました。当期純利益は、投資有価証券売却益による特別利益68,926千円を計上した結果、33,554千円（前事業年度比46.3%減）となりました。

なお、当社の事業セグメントは、自社製品開発事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

（注1）ランサムウェアとは、企業や官公庁、自治体、病院等の業務システムに侵入し、情報資産を暗号化して利用不可能な状態にしたうえで、それを復元することと引き換えに金銭等を要求するソフトウェア、又はこういったソフトウェアを利用した攻撃のことをいいます。

（注2）「知識」、「所有物」、「生体」の認証要素のうち、複数の認証要素を使って認証する方式です。1要素のみで認証するよりも不正アクセスが起こりにくいとされております。

PassLogicが提供可能な多要素認証については、下記ページをご参照ください。

・「PassLogicの多要素認証」ページURL：<https://passlogic.jp/multi-factor-authentication/>

(2) 当期の財政状態の概況

（流動資産）

当事業年度末における流動資産の残高は207,874千円で、前事業年度末に比べ38,643千円減少しております。預け金の減少58,016千円、売掛金の減少7,652千円、現金及び預金の増加17,122千円が主な変動要因であります。

（固定資産）

当事業年度末における固定資産の残高は549,602千円で、前事業年度末に比べ23,257千円減少しております。投資有価証券の減少70,644千円、ソフトウェアの減少4,267千円、建設仮勘定の増加47,311千円、ソフトウェア仮勘定の増加6,544千円が主な変動要因であります。

（流動負債）

当事業年度末における流動負債の残高は164,232千円で、前事業年度末に比べ2,607千円減少しております。未払費用の減少15,813千円、未払法人税等の減少10,103千円、1年内返済予定の長期借入金の減少953千円、未払金の増加13,718千円、前受収益の増加6,116千円が主な変動要因であります。

（固定負債）

当事業年度末における固定負債の残高は110,080千円で、前事業年度末に比べ4,737千円増加しております。長期借入金の増加22,872千円、長期前受収益の増加10,347千円、繰延税金負債の減少28,481千円が変動要因であります。

（純資産）

当事業年度末における純資産の残高は483,164千円で、前事業年度末に比べ64,032千円減少しております。その他有価証券評価差額金の減少66,422千円が主な変動要因であります。

（3）当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末と比較して40,899千円減少し、154,710千円となりました。当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により獲得した資金は24,455千円（前事業年度比18,062千円減）となりました。これは主に、投資有価証券売却損益の計上68,926千円、法人税等の支払額24,232千円、減価償却費の計上57,510千円、税引前当期純利益の計上46,035千円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は56,108千円（前事業年度は24,270千円の獲得）となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出63,602千円、投資有価証券の取得による支出61,634千円、有形固定資産の取得による支出32,192千円、投資有価証券の売却による収入100,621千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により使用した資金は9,246千円（前事業年度比29,424千円減）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出58,081千円、配当金の支払額29,973千円、長期借入による収入80,000千円によるものであります。

（4）今後の見通し

不安定な国際情勢の長期化を背景に、原材料や半導体部品の供給制約、資源価格の高騰、為替市場における円安基調の継続等が引き続き懸念されております。これらの影響により、企業の設備投資が慎重姿勢へ転換し、IT製品市場が縮小した結果、当社の営業活動やシステム導入案件の進捗にも影響を及ぼす可能性があります。

一方で、ITセキュリティ分野においては、不正アクセスやランサムウェアによる被害が依然として深刻な課題となっており、国内外を問わず多要素認証の導入が急速に進んでいます。政府機関、金融機関をはじめとする幅広い業種において、ID・認証管理の高度化に対する需要は今後も継続的に拡大すると見込まれております。

このような市場環境のもと、当社の売上は引き続き、主力製品である多要素認証ソリューション「PassLogic（パスロジック）」が中心となります。ただし、認証セキュリティ市場の拡大に伴い、競合製品の市場参入も増加しており、業界内におけるPassLogicの相対的な存在感はやや低下傾向にあると認識しております。これを受け、2024年6月期より広告宣伝活動の強化や営業・マーケティング体制の刷新を実施し、製品の認知拡大と販売チャネルの再構築を進めてまいりました。今後も、PassLogicの独自性を訴求しつつ、販売代理店やSIerとの連携強化や、未導入の通信・クラウドサービス事業者への拡販を推進してまいります。

併せて、次世代統合IDプラットフォーム「4Login（フォーログイン）」の事業化も進めております。4Loginは、個人・法人を問わず、複数のIDを安全かつシームレスに統合・運用できる統合ID基盤であり、自治体、教育機関、医療機関等の法人利用に加え、個人ユーザーのオンラインサービス利用ニーズにも応える製品です。IDの一元管理を実現することで、利便性とセキュリティの両立を支援し、ユニバーサルなIDインフラとしての成長を目指しております。

さらに、PassLogicおよび4Loginは、共に海外展開の強化にも取り組んでおり、現地パートナーとの連携、国際展示会への出展、多言語対応の推進等を通じて、グローバル市場での製品認知と導入拡大を図っております。

これらの施策により、2026年6月期は先行投資型の収益構造となる見通しです。PassLogicの営業・マーケティング施策の拡大、4Loginの事業化推進、両製品の海外展開強化に伴い、製造原価及び販売費・一般管理費の増加を見込んでおります。

その結果、2026年6月期の業績予想は、売上高393,886千円（前事業年度比16.3%増）、営業損失61,679千円（前事業年度は営業損失39,885千円）、経常損失50,098千円（前事業年度は経常損失22,890千円）、当期純損失33,065千円（前事業年度は当期純利益33,554千円）を想定しております。当社はこれらの取り組みを中長期的な成長のための布石と位置づけ、持続的な企業価値向上に向けて着実に推進してまいります。

※上記業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、現在、日本国内において事業を展開していること等から、当面は日本基準に基づいて財務諸表を作成する方針であります。なお、国際財務報告基準（IFRS）の適用につきましては、今後の事業展開や国内外の動向等を踏まえた上で検討を進めていく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年 6 月30日)	当事業年度 (2025年 6 月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	65,464	82,587
売掛金	37,993	30,341
前払費用	10,098	13,482
預け金	130,145	72,129
その他	2,816	9,334
流動資産合計	246,518	207,874
固定資産		
有形固定資産		
建物	9,266	9,266
減価償却累計額	△2,333	△3,114
建物（純額）	6,933	6,152
構築物	815	815
減価償却累計額	△140	△195
構築物（純額）	674	619
工具器具備品	308	643
減価償却累計額	△216	△281
工具器具備品（純額）	92	361
土地	22,471	22,471
建設仮勘定	5,980	53,291
有形固定資産合計	36,151	82,897
無形固定資産		
ソフトウェア	83,577	79,309
ソフトウェア仮勘定	34,848	41,392
無形固定資産合計	118,425	120,702
投資その他の資産		
投資有価証券	402,743	332,099
差入保証金	13,690	12,396
長期前払費用	1,849	1,507
投資その他の資産合計	418,283	346,003
固定資産合計	572,860	549,602
資産合計	819,379	757,477

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年6月30日)	当事業年度 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	12,389	11,436
未払金	11,298	25,016
未払費用	32,990	17,177
未払法人税等	10,248	145
未払消費税等	4,778	4,577
前受収益	67,438	73,554
その他	27,695	32,325
流動負債合計	166,839	164,232
固定負債		
長期借入金	35,209	58,081
繰延税金負債	48,604	20,123
長期前受収益	21,528	31,876
固定負債合計	105,342	110,080
負債合計	272,181	274,312
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
利益剰余金		
利益準備金	25,000	25,000
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	307,762	311,344
利益剰余金合計	332,762	336,344
自己株式	△435	△1,627
株主資本合計	432,327	434,716
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	114,870	48,448
評価・換算差額等合計	114,870	48,448
純資産合計	547,197	483,164
負債純資産合計	819,379	757,477

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)	当事業年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)
売上高	358,502	338,614
売上原価	110,849	125,583
売上総利益	247,653	213,030
販売費及び一般管理費	243,997	252,916
営業利益又は営業損失(△)	3,655	△39,885
営業外収益		
受取利息	38	39
受取配当金	16,498	18,760
その他	136	149
営業外収益合計	16,672	18,949
営業外費用		
支払利息	970	1,557
支払保証料	259	277
その他	68	119
営業外費用合計	1,298	1,954
経常利益又は経常損失(△)	19,029	△22,890
特別利益		
固定資産売却益	4,544	—
投資有価証券売却益	63,867	68,926
特別利益合計	68,412	68,926
特別損失		
投資有価証券売却損	921	—
減損損失	53	—
特別損失合計	974	—
税引前当期純利益	86,467	46,035
法人税、住民税及び事業税	24,738	6,800
法人税等調整額	△699	5,679
法人税等合計	24,038	12,480
当期純利益	62,428	33,554

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)

(単位: 千円)

	株主資本						評価・換算差額等		純資産合計
	資本金	利益剰余金			自己株式	株主資本 合計	その他有 価証券評 価差額金	評価・換 算差額等 合計	
		利益準備金	その他利益 剰余金	利益剰余金 合計					
			繰越利益 剰余金						
当期首残高	100,000	25,000	273,325	298,325	△240	398,085	64,007	64,007	462,092
当期変動額									
剰余金の配当			△27,991	△27,991		△27,991			△27,991
当期純利益			62,428	62,428		62,428			62,428
自己株式の取得					△195	△195			△195
株主資本以外の 項目の当期変動 額（純額）							50,863	50,863	50,863
当期変動額合計	－	－	34,437	34,437	△195	34,241	50,863	50,863	85,104
当期末残高	100,000	25,000	307,762	332,762	△435	432,327	114,870	114,870	547,197

当事業年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)

(単位: 千円)

	株主資本						評価・換算差額等		純資産合計
	資本金	利益剰余金			自己株式	株主資本 合計	その他有 価証券評 価差額金	評価・換 算差額等 合計	
		利益準備金	その他利益 剰余金	利益剰余金 合計					
			繰越利益 剰余金						
当期首残高	100,000	25,000	307,762	332,762	△435	432,327	114,870	114,870	547,197
当期変動額									
剰余金の配当			△29,973	△29,973		△29,973			△29,973
当期純利益			33,554	33,554		33,554			33,554
自己株式の取得					△1,192	△1,192			△1,192
株主資本以外の 項目の当期変動 額（純額）							△66,422	△66,422	△66,422
当期変動額合計	－	－	3,581	3,581	△1,192	2,389	△66,422	△66,422	△64,032
当期末残高	100,000	25,000	311,344	336,344	△1,627	434,716	48,448	48,448	483,164

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)	当事業年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	86,467	46,035
減価償却費	49,465	57,510
減損損失	53	—
受取利息及び受取配当金	△16,536	△18,799
支払利息	970	1,557
投資有価証券売却損益 (△は益)	△62,946	△68,926
固定資産売却損益 (△は益)	△4,544	—
売上債権の増減額 (△は増加)	3,272	7,652
未払消費税等の増減額 (△は減少)	1,185	△201
未払費用の増減額 (△は減少)	5,537	△7,055
前受収益の増減額 (△は減少)	△12,520	6,116
長期前受収益の増減額 (△は減少)	△6,507	10,347
その他	4,421	△2,742
小計	48,318	31,494
利息及び配当金の受取額	16,533	18,818
利息の支払額	△941	△1,625
法人税等の支払額	△21,392	△24,232
営業活動によるキャッシュ・フロー	42,518	24,455
投資活動によるキャッシュ・フロー		
短期貸付金の回収による収入	5,300	700
有形固定資産の取得による支出	△5,980	△32,192
有形固定資産の売却による収入	11,929	—
無形固定資産の取得による支出	△70,185	△63,602
投資有価証券の取得による支出	△132,402	△61,634
投資有価証券の売却による収入	215,609	100,621
投資活動によるキャッシュ・フロー	24,270	△56,108
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入による収入	—	80,000
長期借入金の返済による支出	△10,483	△58,081
自己株式の取得による支出	△195	△1,192
配当金の支払額	△27,991	△29,973
財務活動によるキャッシュ・フロー	△38,670	△9,246
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	28,118	△40,899
現金及び現金同等物の期首残高	167,492	195,610
現金及び現金同等物の期末残高	195,610	154,710

(5) 財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲の変更)

従来、預け金は資金の範囲に含めておりませんでした。当事業年度より、預け金を資金の範囲に含めることとしております。これは、資金管理活動の実態に即して、預け金を資金の範囲に含めることで、より適切にキャッシュ・フローの状況を表示できると判断したことによるものです。

当該会計方針の変更は遡及適用され、前事業年度については遡及適用後の金額となっております。この変更により、遡及適用を行う前と比べて、前事業年度における「預け金の増減額」、「営業活動によるキャッシュ・フロー」及び「現金及び現金同等物の増減額」がそれぞれ25,187千円増加し、「現金及び現金同等物の期首残高」が104,957千円、「現金及び現金同等物の期末残高」が130,145千円、それぞれ増加しております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(持分法損益等)

当社は関連会社を有していないため、該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社の事業セグメントは、自社製品開発事業のみの単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

前事業年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)		当事業年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)	
1株当たり純資産額	273円85銭	1株当たり純資産額	242円77銭
1株当たり当期純利益	31円23銭	1株当たり当期純利益	16円81銭
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません		なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません	

(注) 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)	当事業年度 (自 2024年7月1日 至 2025年6月30日)
当期純利益(千円)	62,428	33,554
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	62,428	33,554
普通株式の期中平均株式数(株)	1,999,290	1,995,942

(重要な後発事象)

該当事項はありません。